

議会だより

伊那市議会事務局
TEL 02665-9681149
FAX 02665-769117
E-mail gkj@inacity.jp



伊那市議会から市長へ提言した

内容を紹介します(平成30年度～現在)

※結果は後日まとまったところで報告します

伊那市観光株式会社
経営改善に向けた提言
平成31年1月23日付

平成31年1月、経営が悪化している伊那市の第三セクター伊那市観光株式会社(社長・白鳥市長)の経営改善を提言しました。

伊那市観光株式会社は指定管理者として市が保有する宿泊施設や日帰り入浴施設、山小屋などを運営していますが、赤字が常態化しています。特に多額の赤字を計上している宿泊施設の「入野谷」「羽広荘」について同社の経営から切り離し民間への売却や廃止を含め抜本的な検討を求めました。

所管の経済建設委員会において財務諸表を精査したり、関係者から詳細を聞くなど「突っ込んだ議論」を行い、議員懇談会で結果を報告した後、市議会の総意としてまとめ、提言しました。

提言では、各施設が市民の福利厚生のな面を持ち合わせていることを踏まえつつ、宿泊施設については分けて考える必要があるとしました。特に、入野谷と羽広荘は、今後施設の老朽化に伴う大規模改修や修繕の増加が見込まれることも考慮し、抜本的な検討を求めました。また、伊那市観光株式会社と伊那市観光協会との連携強化や市長の社長兼務の早期解消等も課題に挙げました。

小規模保育園のあり方に係る提言 平成31年4月15日付

平成29年2月、伊那市議会は「休園中の伊那西部保育園に係る提言」を行いました。休園5年となる同園を廃園にする市の方針に対して、地元住民から意向を聞き、「西部保育園存続に関する要望書」も提出されたことから、市の方針見直しを求めたものです。

その後市議会は、小規模保育園のあり方について議論を重ね、入園率が定員の50%以下または30人以下で休園、5年後には廃園とする市の休廃園基準の廃止を求めて、同年12月に「伊那市保育園整備計画の小規模保育園のあり方について」を提言しました。

少子化が加速し、ますます子育て支援の充実が求められる中、市長の諮問機関である子ども・子育て審議会では「継続的に20人未満と見込まれる園のあり方を検討する」との新たな基準が提案されました。この事務局案は、地域で子育てを望む住民の願いに背き、先に示した

た議会の総意にも反することから、園児数を基準とする考えに反対の意思を明確に示し、改めて休廃園基準の廃止を求めて、平成31年4月に再提言を行っています。

伊那市危機管理についての提言 令和2年4月14日付

議会だより6月号では、3分科会に分かれて協議した内容を掲載しました。

- ① 地域内のコミュニケーション力の向上
- ・ 防災リーダーを養成し、隣組レベルの機能的な自主防災組織を構築すること
- ・ 自主防災組織の役員は、複数年の任期とするなど継続性を持たせること
- ・ 地域の特徴に応じたきめ細やかな災害種類別のマニュアル作りを推進すること
- ② 情報伝達手段について
- ・ できるだけ早急に防災無線のシステム更新を行うこと
- ・ 災害時住民支え合いマップの「組」などの小さな単位での作成を財政的な支援を含め

行政側の指導のもと推進すること

③ 避難誘導について

- ・ (避難所のあり方含む) 指定緊急避難場所と指定避難所の違いについて市民への周知徹底を図ること
- ・ 避難所の安全性について災害別に検証すること
- ・ 民間会社の施設を避難場所として使用できるような連携協定を検討すること

請願・陳情について

現行の取り扱いについて見直しを行いました。

9月議会より試行します。伊那市議会HPをご覧ください。

—9月定例会議会の放送予定日—

伊那市チャンネル 9月番組(予定)表		伊那ケーブルテレビ デジタル 11ch, C511ch	
生放送		再放送	
8月28日	議会開会	9月20日の18:00～順次	
9月8日	一般質問(1日目)	再放送します。日程については伊那市チャンネル等でお知らせします。	
9月9日	一般質問(2日目)		
9月10日	一般質問(3日目)		
9月18日	議会閉会		

※過去の録音を議会ホームページで見ていただけます。 ※伊那市議会の活動などをFacebookで発信しています。 ※YouTubeで委員会審議の録音中継をご覧いただけます。